

真・報連相名言集

- 企業人にとって、最大の環境は上役なり
- 目的あっての目標である
- 目標は、目的追及の手段なり
- 目標の適否は目的に照らしてこそ判断できる
- すべての報告は、中間報告なり
- 自分の影響下にある部下をみている
- 部下育成は、自己育成
- 3項目で表現すると、わかりやすく印象に残る
- リーダーシップとは、助けてもらう能力なり
- その報連相が良いか悪いかは、相手がきめる
- 自分の外にある原因と、自分のなかにある原因
- 「関心」は「磁石」のように、必要な「情報」を吸い寄せる
- 「関心」は「磁石」のように、必要な「人」を呼び寄せる
- 「関心」の強さと、持続は、創造へつながる
- 人はだれでも理解欲求をもっている(ワケを知りたいのだ。ワケがわかれば人は動く)
- 他人と過去は 変えられない(自分と未来は変えられる)

～ エリック・バーン。カナダの心理学者。「交流分析」の創始者 ～

- 「離見の見」「目前心後」「初心忘るべからず」～ 世阿弥 ～
- 上手は下手の手本、下手は上手の手本 ～ 世阿弥 ～
- 守破離(規矩作法 守り尽くして 破るとも 離るとても もとを忘るな ～ 千利休 ～)
- 深い穴を掘るには、広い穴を掘れ
- 今が、適齢期 ～ 吉本伊信先生。「内観法」の創始者 ～
- 人生が状況によって、耐え難くなることなどない。

意味と目的の欠如によってのみ、そうなるのだ

～ ヴィクトール・フランク。オーストリアの心理学者 ～

- いにしへの 道を聞きても唱へても わが行にせずばかひなし ～ 日新公いろは歌 ～